

# 令和3年度 小諸市社会福祉協議会事業計画

## 【基本理念】

地域福祉を推進する団体として、「誰もがその人らしく安心して暮らすことが出来る地域社会」を地域住民と協働で創ります。

## 【基本方針】

基本理念に基づいて、以下の方針で事業を展開します。

- 1 住民や地域団体との協働による地域福祉の推進
- 2 地域ニーズに基づいた事業の展開
- 3 住民主体のサービスの実施
- 4 総合的な相談体制の整備

## 【主な事業方針】

- 1 支え合う地域づくりの推進

(1) 新型コロナウイルスの感染拡大により、人間関係の基本が「人と人のふれあいや絆が大切」ということから「人との三密を避ける」に変わり、生活様式にも大きな影響を及ぼしています。

小諸市社会福祉協議会は、地域福祉の推進を使命としており、区を単位とした支え合い活動による、誰も孤立しない顔の見える関係づくりや、市民活動・ボランティア活動のコーディネート等を通して、住み慣れた場所で暮らし続けることのできる地域づくりに取り組んでいます。

引き続きこの活動を推進するためには、新型コロナウイルスの感染予防による新たな生活様式に努めながら、生活支援・介護予防整備に向けて「生活支援コーディネーター」及び「協議体」の機能を発揮し、日常生活の支援体制整備を推進します。

また、昨年度「ファミリーサポートセンター」を開設し次第にマッチングの実績を上げてきております。事業の周知や提供会員の確保及び研修の充実を図り、市内において育児に関する相互援助活動を行うことにより、仕事と育児を両立できる環境づくりに取り組みます。

- (2) 8月に開設予定の複合型中心拠点誘導施設「こもテラス」へ、「高齢者福祉センター」、「市民活動・ボランティアサポートセンター」、「ファミリーサポートセンター」が移ります。利用者の皆さんに不都合のないよう、市と調整しながら準備を進めていきます。

また、新施設が中心市街地に位置することから、今まで以上に市民の皆さんに身近な施設となり、利便性の向上が期待されます。幅広い世代の皆さんが集い、世代間交流による賑わいの創出が図られるよう施設の運営に取り組みます。

## 2 障がい児通所支援事業の取り組み

野岸の丘総合福祉センター2階で、障がいのある子どもさんの育成・支援に取り組んでいる「社協アスパラキッズ」指定障がい児通所支援事業は、サービス内容について創意工夫をしながら運営したことにより、利用者も増加し安定した運営で推移していました。昨年度は、新型コロナウイルスの感染拡大の影響で利用者が減少しましたが、下半期は利用者数が回復してきております。

徹底した感染予防対策を行いながら、放課後等デイサービスにより、通所の児童生徒に対し集団生活での適応、生活能力の向上を図り、利用者のニーズに応じ、自立を目指した支援を行います。

また、保護者への支援を行いながら、安心して利用いただける施設運営に努めます。

## 3 相談・支援体制の充実

総合相談事業は、相談件数が増加傾向で、内容も複雑で困難な事例も増えてきており、行政・介護・医療・保健等の関係機関や民生・児童委員、自治会等との連携した「地域包括ケアシステム」の構築を進めます。

今後の相談件数の増加を見据えて、地域包括支援センターについて、引き続き市と協議しながら相談体制の充実にも取り組みます。

#### 4 日常生活支援の取り組み

生活困窮者や障がい者等を対象とした「日常生活自立支援事業」及び「心配事相談」・「生活困窮者自立支援事業」により、利用者の安定した生活ができるよう支援します。

また、就労支援、教育支援、権利擁護、納税相談、公共料金の支払いなど幅広い相談支援を実施するため、市及びハローワーク等と連携し相談機能のネットワーク化を図ります。

#### 5 効率的な組織運営

今後の事業の方向性や業務の増加を見通す中で、地域福祉係と相談支援係を統合し、個別支援も支え合う地域づくりの視点で取り組むとともに、相談支援係で取り組んでいたサービス事業についても、サービス事業部門の在宅支援係（旧介護支援係）が一括実施する体制に見直し、効率的な組織運営を目指します。

#### 6 中期的計画に基づく事業の推進

少子高齢化や人口減少の進展による、国の制度改革や福祉事業の環境が変化する中で、地域住民誰もが様々な課題を抱えながらも住み慣れた地域で、その人らしく安心して暮らせる地域社会を、地域住民と関係機関や団体と協力しながら取り組んでいくために策定した、「小諸市地域福祉計画・地域福祉活動計画」並びに、社協が継続して、地域福祉の充実を図る組織としての役割を果たしていくために、中期的な目標や目標達成のための行動計画を策定した「発展強化計画」を単年度の事業計画に反映し、計画の目標実現に向け取り組んでいきます。

引き続き、「小諸市地域福祉計画・地域福祉活動計画」に掲げた『「お互いさま」のこころで育む支え合うまち・こもろ』の実現に向け、感染予防対策のための新たな生活様式について工夫しながら、地域の皆さん並びに市、関係機関と「地域総合相談・生活支援システム」の構築をはかり、少子高齢型人口減少社会、障がい児・者支援、生活困窮者支援、孤立など多様かつ複雑な地域の課題に対応した、地域福祉の向上に取り組めます。